



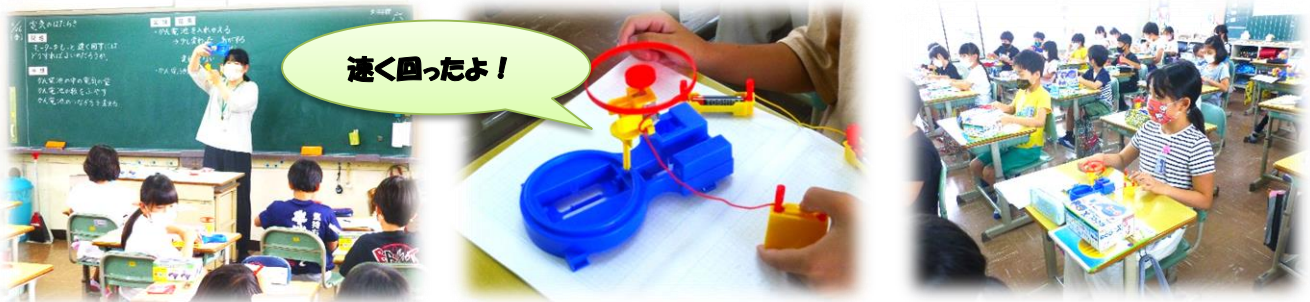
楽しい理科の授業



先日、音楽の授業について工夫を紹介したところですが、理科の授業についても工夫しながら行っているところです。例えば、理科室での対面となるグループ実験は避け、普通教室で、視聴覚教材を活用したり、観察や実験を行ったりして授業を行っています。

文部科学省は、観察、実験などを通じて自然の事物・現象について理解を図ることに係り、『学校の授業における学習活動の重点化に係る留意事項等について』(R2.6.5)の中で、「問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を基に考察し、結論を導き出すといった問題解決の活動は、学校の授業で取り扱うことが望ましい」と述べています。学校での授業の意義を再確認し、引き続き、子供達の「なぜかな。」「びっくり。」「すごい。」「なるほど。」が生まれるような楽しい理科の授業を行っていきたいものです。

【4年】「電気のはたらき」 モーターをもっと速く回すにはどうしたらいいだろう？



【5年】「メダカのたんじょう」 メダカの卵を観察しよう。顕微鏡の使い方をマスターしよう。



【6年】「ヒトや動物の体」 だ液によるでんぷんの変化を調べよう。



※今年度、5・6年生の理科は、専科の西谷先生に指導していただいています。